

とことこ通信

平成30年12月5日
ときわ・ことり保育園



夏まつり・運動会、そして、おゆうぎ発表会。今年もいろいろな行事がありました。

常に前を向いている子どもの姿に、元気をもらいながら、忙しくても張りのある生活を送らせてもらっています。

～夢中で遊んでいても「耳」は、たくさん聴いて・聞いています～

以前、保育士の研修会で・・・

2歳男児、「砂遊びが大好きで、毎日・毎日同じ事を繰り返して遊ぶ」のを見ていた、お母さん。

「この時間、せっかくだからクラシックを聞かせよう！」と思いつき、小学校に入るまで、同じ曲を何度も聞かせたそうです。

そして、バイオリンを渡して音階を教えたら、「耳」から入って覚えた曲をスムーズに弾いてしまった!!そうです。

これは、「根っこを育てる大切な時期に、何故`良い音・ことば`を聞かせる必要があるのか」の事例であり、子どもだからこそ「本物」を、見せたり聞かせたりするのが大事なのだと、講義されました。

そして、考え方や価値観も大人の影響は大きいです。

私たち大人は、子どもの「人的環境」。自分の言動・身なり・立ち振舞いに責任があります。

普段から意識して子どもと関わりたいものですが、 * 11月5日苦情のメールが匿名で届きました。

「運動会時、〇〇の子の親が北門近くで停車させて降ろしたり、競技中に飲酒をしていたり・・・。

当然帰りは、飲酒運転になり。 してはいけないことをして、「同じ親として、はずかしい。」(概要)

「自分さえ良ければ、自分一人ぐらいは……。」の行動は慎んで頂きたく存じます。

子どもは、真似が上手です。しっかり見たり聞いたりしているのを、忘れないであげてください。

記：園長